



全支部書記長・組織部長・業務部長 会議開催！秋のたたかいのスタート！

8月19日仙台地本会議室にて「全支部書記長・組織部長・業務部長会議」を開催し、2018秋のたたかいについて仙台地本としての方針を示しました。秋のたたかいのスローガンとして、「18春闘の『敗北』の総括に踏まえ、職場の声に基づく新生JR東労組運動を創り出すことを基礎に信頼を回復し、組織強化・拡大のうねりを大きく創り出そう！」としました。具体的なたたかいについては下記（提起内容は一部抜粋）を参照して下さい。参加された各支部のみなさんからは、現状も含めて職場で奮闘されている状況が語られ、レクを中心に組合員と共に運動を創り出すこと、業務課題を通じて労働組合の必要性を考える取り組みを中心に多くの意見が出されました。直面している業務課題としては運転職場を中心とする各施策の課題があります。乗務員勤務制度の改正やワンマン運転拡大、営業職場や設備職場における施策の検証運動などを進めて、各支部・分会で出来ることから積極的に秋のたたかいを展開していくことを確認しました。

◇組織をうち固め、一人ひとりが組織の必要性を訴える取り組み

- ・組合員名簿、共済等の整理・・・組合員の家族構成や共済活動を再点検する。
- ・レク、サークル活動の強化・・・地本主催 9月25日 仙台地本委員長杯ゴルフ大会
10月14日 仙台地本秋のレクリエーション
*その他、各支部・分会で創造的にレクを開催する。
- ・不当労働行為を許さないこと・・・職場で発生した場合にしっかり整理すること
- ・掲示板の工夫とホームページの活用でタイムリーに情報を発信する

◇業務課題を通じて労働組合の必要性を考える取り組み

- ①次期ダイヤ改正を見据えて
乗務員勤務制度・ワンマン拡大については安全について妥協せずに交渉を進める
- ②協約・協定について
労使間の取扱いに関する協約などについて組合員と再度、議論し必要性を感じる取り組みを進める
- ③各施策の検証行動の実施
安全・健康・ゆとり・働きがい向上に向けた議論を創り出す
 - ・営業施策（駅業務委託、旅行業移管、体制変更など）
 - ・設備施策（土木建築部門における一部業務の見直し、保線部門におけるメンテナンス体制の最適化など）
 - ・在来線モニタリング導入を見据え、職場の将来像を議論
 - ・仙台駅出札の業務委託に向けた職場議論
 - ・施設・電気部門体制変更を見据えた議論
 - ・総合車両センター、検修職場におけるメンテナンスブラッシュアップとCBMを見据えた議論

* 具体的なたたかいの課題については支部や分会で異なることから、職場での議論を最重要課題とし、組合員が集まる場を創造的に組み立てます。詳細については各支部と議論します。

